

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 秋山駅前教室

保護者等数(児童数)24 回収数19 割合79%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	0	0	0	広く清潔な室内です。大きな室内で走り回って楽しそうに遊んでる姿をみて、うれしくなりました！お庭も作ってくださいさまざまな活動をしてくださっています。	活動に合わせ、教室の使い分けや園庭での活動も行ってあります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1	0	1	十分に先生を配置くださり感謝しております。見学に向うとき、適足の写真をみて、いつも安心感があります！	ご利用の人数に合わせ、適切な配置を心掛けております。これからも良い支援が提供できるよう努めてまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	0	0	0	お手を洗う時にいつもびしょびしょになってしまうようです。	積極的に環境改善に努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	0	0	0	見学に数回伺いましたが、いつも綺麗にされており、すっきりしたお部屋で安心してあります。	毎日、施設内清掃と教材や玩具等も含めた消毒も行ってあります。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19	0	0	0	その時々で悩んでいる成長のポイントを的確にヒアリングしていただき、アドバイスくださっています。ありがとうございます！	アセスメントや連携機関との内容を踏まえ、ご要望に生かした支援計画書を作成しております。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19	0	0	0	短期の目標の立て方はアドバイスいただけるので、助かっています。	ガイドラインの趣旨にのっとり、お子様の特性をもとに必要な支援目標を設定しています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19	0	0	0	言葉を増やす、数を数える、文字をなぞるなど少しずつ成長がみられています。一人一人に合った支援のおかげだと思います！	支援記録にて、達成目標の評価を日々行っております。それをもとに意識しながら支援に当たっています。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19	0	0	0	課外活動や、アートプログラムや謎解きなど幅広いカリキュラムが嬉しいです。	お子様の成長や課題等、状況に応じたプログラムで提供できるよう工夫しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	4	9	保育所へおむかえにきてくださり、就労の身でも支援を受けられています。日々感謝です。	機会がございましたら交流や活動の場を広げていけるよう努めていきたいと思っております。
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	1	0	0	長期休み利用で、春休みは全員1日利用が基本と言われたのにその後は園組と繰引されて残念だった	事前にお便りで周知させて頂いた通り内容となります。療育の質の維持のため、ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19	0	0	0		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9	3	1	6		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	0	0	1	たまに見学に行き情報共有している	お電話やお手紙、ご見学などで保護者様との情報共有をさせていただいております。ご見学のご希望があれば随時対応致します。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1	0	1		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	3	7	3	参加はあまりできていませんが、家族参加可能なイベントを多く用意していただいております。 保護者参加型のイベントはあるが、交流を深めるところまではいかない 父母会保護者会はないためきたらいいと思う。	イベント等で保護者様の交流ができる場を提供しております。今後も定期的に開催できるよう、努めて参ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	17	1	0	1	大半はすぐに対応してもらえてありがたいと思っておりますが、中には相談を愚問した手紙を渡したつもりでしたが、結果として報告と理解されりアクションがない事例もありました	ご相談や申入れには、速やかに対応が行えるよう掛けております。書面またはお電話でも構いませんのでご相談ください。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19	0	0	0		
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	19	0	0	0			
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	2	1	2		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	2	0	6		
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	0	0	とても楽しみにしています。 毎日、今日はこぼんはうす?!と聞いてくるほど楽しみにしています。いつもありがとうございます！	楽しみにしてくださっていて、とても嬉しく思います。今後もお子様たちが安心して楽しく過ごせるよう雰囲気作りを大切にしていきたいです。
	23	事業所の支援に満足しているか	19	0	0	0	親の我々でも面倒を見るのが大変で連れて行かないような所にも連れて行って頂いてありがたいです。教室に通うようになって発語が増えました。	今後も、皆様が安心してご利用いただけるよう、保護者様との情報共有を密にしながら、より良い支援が提供できるよう努めてまいります。

376 18 13 30

86%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすくら 秋山駅前教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	安全に過ごせるように、子どもたちの姿をイメージして支援の準備や環境を整えるようにしている。 利用者が多い日は2部屋に人数を分けている。	午後の児童の人数が多く、質の高い支援ができていないか悩むことが多い。落ち着いて支援が行えるよう知識や技術を引き続き学んでいく。
	2 職員の配置数は適切であるか	7	0	1対1での支援が必要な児童がいた場合、他の児童にしっかりと見られていないと感じることが多いため、職員間で声を掛け合うようにする	はい
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	写真や名札、イラストでわかりやすく環境を整えている 座席の配置	個々に合わせてイラストなどを増やしていきたい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	清潔で安心できるよう日々、掃除や環境設定をしている 机上活動と音楽・体操等の部屋を分けている	子どもたちが、クレヨンなどで机や壁に描いてしまう姿が多いので対応の仕方を考えていきたい
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	新しい職員が自信を持って支援を行えるような雰囲気を作るようしている 毎日の朝礼で振り返り、改善点を話し合っている	支援がうまくいかなかった時に、みんなの前で責められているような場面が見られるので自信を持って支援ができる雰囲気を作っていきたい
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	外部評価を取り入れている部分と難しい部分がある。	
適切な支援の提供	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1		
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	評価時に以前のアセスメントと照らし合わせ保護者様にお話を伺っている	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	会議で支援方法について話しをして方向を合わせて支援している プリントや個別プログラム等の内容を個々に変える。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	プログラムをしていて感じたことを、様々な職員から意見をもらえるようにしている プログラム内容の改善について、職員全体で話し合い意見を出し合っている	会議する時間がないため、職員一人ひとりの意見をもらい反映できるようにしていきたい
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	子どもたちの反応を見ながら、新しいプログラムも取り入れている 月毎にプログラム内容を見直している	新しい教材の準備をしっかりしていきたい
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	7	0	個々の発達のバランスをみながら作成している	なかなか達成できない時もあり、支援方法に悩むことがある。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	スムーズに支援が行えるように内容や動きについて話し合っている 朝礼でその日の流れ、前日の伝達事項などで情報共有をしている	支援前に送迎などでできないときもある。完全ではないが、すばやく重要なことだけでも伝えるようにしている。 送迎で不十分な時もあるが、その都度確認は行えている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	近くで支援記録を書きながら振り返りを行っている。 当日は送迎や勤務時間で難しいが翌日以降に確認している。	送迎が遅くなり、できない時もある。 気付いた点の共有等行なっているが、全員で行えない時もある。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	わからない場面は他の職員と振り返りしながら記録をしている。 支援記録を記入し、振り返りができるようにしている。 支援記録をとっている。		
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0		なかなか達成できない目標が続いた時に、支援方法に悩むが他の職員と相談したり文献を読んで改善していきたい	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	みんなで相談し児童発達支援管理者が連携をとっている	まだ連携をとる必要がある児童がいるので引き続き連携していきたい
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0	送迎の際に様子を伝え合ったり、訪問して支援を行なっている	今後、訪問の支援に参加していきたい
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1		今後研修を受けたい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	2		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	3	代表者が参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎時にお伝えしている	保育園送迎で、保護者と話ができない児童もいるので機会を作りたい
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	お祭りや運動会など保護者参加の行事の際に、保護者同士が交流できるようにしている。保護者会は行っていないが、イベントなどで保護者が参加できる形をとってコミュニケーションの場をつくっている	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	相談などがあった時には報告し、職員で話し合っている	
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	お便りやansでこまめに活動報告をしている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	連絡帳、送迎時の報告等。	まだまだ勉強中なので知識や経験を増やしていきたい
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1	不十分な部分もあるため、見直していきたい。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0		
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0			
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1			
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	虐待にならないように職員で意識しながら支援している		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計	5	0			